



瓊浦高等学校
学校通信
第 23 号

平成26年7月22日発行
電話 095-826-1261
FAX 095-820-5245



「 創設者と金剛石 」

理事長 栗山 幸生

本校の学校紹介ポスターに「原石諸君」の文字を見てとても嬉しくなりました。このポスターは専門家をお願いして、来春の受験生むけに作られたものですが、嬉しくなった理由は、この一枚に本校の90年の校史と、100周年へ向けての道筋（V=P・A）とが描かれているからです。

「原石諸君」の四文字は、校名・校歌の「瓊」と「金剛石」からの発想と思いますが、私たちの学校のシンボルが珠玉で表されることは誇りです。ただ、「瓊」も「金剛石」も原石のままでは「玉」ではなく、磨かれて初めて光輝き人々を感動させる珠玉となります。

本校の創立者で初代校長の中村安太郎先生は、昭憲皇太后（明治天皇后）を敬愛しておられ、その御歌「金剛石」を折に触れて用いておられたようです。

金剛石も磨かずば、珠の光は添わざらん

人も学びて後にこそ、誠の徳あらわるれ

時計の針の絶え間なく、めぐるが如く時の間も

日かげ惜しみて励みなば、如何なる業かならざらん

意味は、金剛石（ダイヤモンド）は磨くことで素晴らしい輝きを放ちますが、磨き方が不十分ではその色も美しさも見ることができない。私たち人間も同じ事で、生まれながらの素晴らしい才能も、絶え間なく働いて精進することで、人としての品格が整い、夢の実現にたどりつくということです。

もう一つの間石との関わりは、女学校時代の校章に見ることができます。

外環が白地にダイヤモンドカットで、内側にすみれの花を鎖状に列し、中央に勾玉が配されている。この校章の由来は、外環の金剛石は前記の通り昭憲皇太后の教えて

あり、すみれの花は、貞明天皇（大正天皇后）の御歌「うつふして匂ふ 春野の花すみれ 人の心にうつしてしがな」（婦人はおとなしく・謙虚であって欲しい）、勾玉は弥生時代から用いられている装身具で、婦人の美の象徴として用いられています。

中村先生の建学の理念は、「女子に高等普通の教育を授け、特に人格教育に重きをおき・・・・・・理想的婦人の養成することを目的とする」ということであり、先生の理想的婦人の養成に、皇太后の御歌と金剛石の美しさと品格が大きな役割を担ったといえます。

この金剛石の御歌は、瓊浦高等学校校歌にも引き継がれています。

「愈々輝け 金剛石と」・「愈々堅かれ 金剛石と」・「愈々磨かん 金剛石と」
校歌の作詞者 寺田徹先生は、校歌の作詞経過の中で、高等女学校時代からの経緯と中村先生への想いから「金剛石」はどうしても残しておきたかったと記しておられます。

学校見学会について

第1回学校見学会が7月5日（土）に行われました。約400名の中学生・保護者の方々にご参加いただき、体育館での全体説明のほか、模擬授業体験、和太鼓やダンスサークルによるアトラクション、部活動体験などを行いました。

生徒会をはじめ、各クラブの生徒も中学生の案内などを行い、参加者から好評を得ていたようです。

なお、第2回学校見学会が7月28日（月）～30日（金）に実施されます。約250名の参加者が来校されますがより多くの方々に瓊浦高校の魅力を伝えることが出来ればと考えています。



《 主な行事 》 8・9月

8月

- 1日（金） 全国高総体（～20日）
- 4日（月） 進学・就職・SPI補習
（～21日）
- 5日（火） インターンシップ②機械科
（～22日）
- 9日（土） 平和教育（登校日）
- 17日（日） 学習合宿（～20日）
- 21日（木） 進学対外模試①②③
- 26日（火） 始業式・生徒会役員任命式
- 27日（水） 第2回実力考査①②
体育祭特別時間割（～3日）

9月

- 4日（木） 体育祭予行
- 6日（土） 体育祭
- 8日（月） 振替休日（体育祭）
- 14日（日） 対外模試③（～15日）
- 16日（火） 就職選考試験開始
- 24日（水） 中間考査時間割発表
- 28日（日） 全商情報処理検定

進路ガイダンス

7月8日(火)5,6時間目の総合学習の時間を利用して、2年生は、進路ガイダンスを行いました。5時間目は卒業生による講話を聞きました。身近な存在である先輩方の話を聞くことで、働くことの大変さや、高校生と社会人の違いについて深く考えることができたようです。6時間目には、大学や専門学校の話聞き、それぞれの学校の魅力を知り、進路選択について考えるきっかけになったと思います。

「3年生になってから自分の進路について考えるのは遅い気がした。」「目標を決めて、それに向かって頑張っていきたい。」と、生徒たちから感想が聞かれました。今の気持ちを忘れずに、授業等に積極的に取り組んでほしいと思います。



生徒総会

7月14日、生徒総会ならびに、生徒会役員選挙が開かれました。生徒総会では、事前にそれぞれのクラスで話し合わせ、提出された要望事項について議論されました。よりよい学校生活を送るために、生徒たちは活発に意見を交換していました。

生徒会役員選挙では、立候補者は生徒会に対する思いを力強く述べていました。

新生徒会役員に選出された人たちには、生徒の代表として活動を活発に行い、それぞれの力で瓊浦高校をより良い学校へと変えていってほしいと願っています。



ものづくりコンテスト

6月14日(土)県立鹿町工業高校において、第14回高校生ものづくりコンテストが開催され、瓊浦高校からは渡部丈基くん(機3A)が旋盤部門に出場しました。今回で2回目の出場であり、経験は浅いながらも、前回の反省点を踏まえて、課題制作の練習に一生懸命取り組みました。結果として上位入賞はできませんでしたが、作品のできばえはすばらしく次年度につながる大会となりました。



【地域開放講座】

7月10日(木)に開講を予定していましたが、地域開放講座「心に残る風景を描こう」は、台風のため24日(木)に延期いたしました。ぜひご参加ください。

競技大会

優勝

- ソフトバレー
情報ビジネス科3年A組bチーム
- ドッジボール
龍馬コース1年
- 卓球
宮地・川淵ペア(機3C)
- アームレスリング
松本 翔平(機1B)
- けん玉
三浦 拓人(普1D)
- 将棋
坂本 直也(機2D)
- オセロ
杉本 翼(情1A)
- かるた
出口 大夢(機2C)

7月17日、校内競技大会が行われました。日頃あまり交流を持つことの少ない、他学年や他クラスの生徒同士が対戦することもあり、そこでは、いつも以上に真剣な表情で競技に臨む生徒たちの姿が見られました。



就職指導部より

今年度の求人公開が開始され、7月17日時点で、県内274件、県外291件の求人を受け付けました。

景気回復の流れが求人にも繋がりはじめたことや、卒業生の活躍が本校への求人を後押ししたことにより、就職希望者の選択の幅も広がってきています。今年度も就職希望者全員の内定を目指し、頑張っていきます。保護者の皆様のご協力をお願い致します。

【部活動成績】

- | | | |
|-----------|---------------------------|-----|
| ○ 新聞部 | 平成26年度 長崎県高等学校総合文化祭 | 企画賞 |
| ○ ハンドボール部 | 平成26年度 全九州高等学校体育大会 | 第3位 |
| ○ 卓球部 | 平成26年度 全九州高等学校体育大会 男子学校対抗 | 第3位 |